

【目次】

- 新機器紹介 1
- お知らせ 3

【新機器紹介】

◆平成26年度に新たに導入した機器

装置名（設置施設：担当科）、主な仕様、機器外観

◆**複合環境振動試験装置（振動試験装置／大型恒温恒湿槽）**（鳥取施設：応用電子科）

電気・機械製品及び部品類の温度、湿度、振動、衝撃に対する耐性評価を複合的に行うことができます。製品の耐久性、信頼性の向上をサポートします。

主な仕様

- メーカー：IMV株式会社
- 形式：振動試験部 J230/SA3M
恒温恒湿部 TBH-6-J30-A-TT-CE
- 仕様
 - ・周波数範囲：2～3,000Hz
 - ・最大加速度：888m/s²（正弦波）、2,222m/s²（ショック波）
 - ・最大速度：2.4m/s
 - ・最大変位：100mm p-p
 - ・最大搭載質量：300kg
 - ・温度制御範囲：-70～180℃
 - ・湿度制御範囲：20～98%RH
 - ・内槽寸法：W1,000×D1,000×H1,000mm

公益財団法人JKA 平成26年度自転車等機械工業振興補助事業
平成26年度公設工業試験研究所等における機械等設備拡充補助事業
※平成27年2月導入



◆**高精度型3Dプリンター**（米子施設：計測制御科）

試作開発のためのモデル作成に使用できます。インクジェット紫外線硬化方式による積層造型ができます。試作開発における時間短縮と高付加価値化をサポートします。

主な仕様

- メーカー：株式会社キーエンス
- 形式：AGILISTA-3100
- 仕様
 - ・造型サイズ：297×210×200mm
 - ・高さ方向造型ピッチ：0.015mm、0.020mm
 - ・使用樹脂：アクリル（半透明：黄色）
 - ・特長：微細部品造型可能、水溶性サポート材

※平成26年5月導入



◆**複合・大型3Dプリンター**（米子施設：計測制御科）

試作開発のためのモデル作成に使用できます。インクジェット紫外線硬化方式による積層造型ができます。試作開発における時間短縮と高付加価値化をサポートします。

主な仕様

- メーカー：株式会社スリー・ディー・システムズ
- 形式：Projet5500X
- 仕様
 - ・造型サイズ：533×381×300mm
 - ・高さ方向造型ピッチ：0.029mm、0.032mm
 - ・使用樹脂：アクリル（白：ABSライク、クリア：ポリカーボネートライク、黒：ゴムライク）
 - ・特長：複合樹脂造型可能（樹脂配合9パターン）

※平成26年7月導入



◆**精密切断機**（米子施設：機械技術科）

金属材料や非金属材料などの断面における硬さ試験、金属組織観察、化学成分・組成分析などを行う際に、試料を切断するために用います。迅速な試験片作成をサポートします。

主な仕様

- メーカー：平和テクニカ株式会社
- 形式：HS-100型Gタイプ
- 仕様
 - ・自動切り込み速度：デジタル式調整が可能（毎分4～300mmの範囲で、毎分1mm単位での調整が可能）
 - ・ワークテーブル移動量：切込方向240mm以上、左右方向110mm以上
 - ・スピンドル移動量：上下方向135mm以上
 - ・フロントカバーインターロック機能付き

※平成26年7月導入



装置名（設置施設：担当科）、主な仕様、機器外観

◆超臨界流体クロマトグラフ

(境港施設：アグリ食品科)

超臨界二酸化炭素を移動相として超臨界流体に可用性の成分の抽出、分離分析、精製、分取ができます。超臨界抽出法は、天然物からの各種フレーバや色素、薬効成分の抽出、コーヒーの脱カフェイン、DHAやEPAなど魚油成分の濃縮精製などで実用化されています。有機溶媒を用いない脂溶性成分の抽出や分析をサポートします。

- メーカー：日本分光株式会社
 ●型式：SFC/E-2000TT
 ●仕様
 ・送液部：液化二酸化炭素用～10mL/min、溶媒用～5mL/min
 ・抽出部：高圧容器50mL
 ・クロマト部：オートインジェクタ、カラムオープン、圧力調整弁
 ・検出器：PDA
 ・回収部：フラクションコレクター
 ・制御・解析：データステーション
 経済産業省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業（中国地域）」
 ※平成26年12月導入

主な仕様



◆造粒試験システム

(境港施設：アグリ食品科／食品加工科)

原料の乾燥から、粉体の造粒・コーティングまでの試作ができる装置です。造粒やコーティングによる溶解性の改善、変質防止等をサポートします。

経済産業省平成26年度対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金（企業立地促進基盤整備事業） ※平成27年1月導入

＜転動流動造粒コーティング装置＞

- メーカー：株式会社パウレック
 ●型式：FD-MP-01D/SPC/PLS
 ●仕様
 ・転動流動層装置（MP）
 ・流動層造粒乾燥装置（FD）
 ・微粒子コーティング装置（SPC）
 ・処理能力：500～1,500g/回
 ・使用給気温度：40～80℃

主な仕様



＜攪拌造粒装置＞

- メーカー：株式会社パウレック
 ●型式：FM-VG-01
 ●仕様
 ・処理能力：0.6～0.9L/回
 ・ブレード回転数：100～1000rpm
 ・クロススクリー：360～3500rpm
 ・バインダーホッパ：0.6L側面ジャケット付

主な仕様



＜真空ガス置換包装機＞

- メーカー：株式会社西原製作所
 ●型式：真空ガス充填機 TVG-9510B
 ●仕様
 ・チャンバー：傾斜型
 ・シール有効長：920mm
 ・シール寸法：500mm
 ・シール幅：14mm
 ・ガス置換：窒素ガス、炭酸ガス

主な仕様



＜減圧乾燥機＞

- メーカー：八尋産業株式会社
 ●型式：BCD-1300U型
 ●仕様
 ・乾燥方式：減圧平衡乾燥法
 ・制御方式：5段コンピュータ制御
 ・入庫方式：エビラ式 30枚
 ・使用温度範囲：30～75℃

主な仕様



装置名（設置施設：担当科）、主な仕様、機器外観

◆小容量液体連続殺菌試験装置

（境港施設：アグリ食品科）

小容量の飲料や調味料などの液体だけでなく、固形物や繊維質を含む製品、粘度の高い製品でも連続して安定した殺菌を行うことができる装置です。フルーツソースやゼリーなど繊維質や固形物を含む食品の高品質化をサポートします。

主な仕様

- メーカー：株式会社日阪製作所
 - 型式：RMS-2LS-T
 - 仕様
 - ・処理量：60 L/h
 - ・殺菌温度：95～143℃
 - ・ホールド時間：30秒
 - ・熱水間接加熱：チューブ式
 - ・冷却水間接冷却：チューブ式
 - ・殺菌方式：チューブ式
 - ・仕込量：最小3 L
 - ・処理量：30～60 L/H
 - ・温度：殺菌95～143℃、冷却90～30℃
 - ・主要材質：接液部SUS316
 - ・充填機：タンク40 L、500ml以下/回
- 経済産業省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業（中国地域）」
※平成26年12月導入



【お知らせ】

◆感謝状を拝受しました

企業名	谷口・青谷和紙株式会社
受贈日	平成26年7月10日
支援内容	当センター電子・有機素材研究所は、平成2年から現在まで、立体漉き和紙製造による球形和紙成形体の製造技術を支援しました。（「立体漉き」技術：和紙を球体に3次元で漉き上げる革新的な技術。継ぎ目無く均一に漉かれ自由曲線を持つことが特徴）



◆「商品開発支援棟」を開所しました

平成27年2月6日の開所式では、来賓に平井伸治鳥取県知事、伊達憲太郎境港市産業部長、山根昭彦鳥取県食品産業協会会長を迎えご祝辞を頂き、看板除幕を行いました。

翌2月7日の土曜日に一般公開を行いましたところ、企業の方など約150の方がお越しになり、施設や機器の使い方やサンプルとともに応用方法を交えた説明を行いました。

本施設には、食品の試作加工を支援する“商品開発支援ゾーン”及びおいしさの評価・数値化を行う“食品品質評価支援ゾーン”があり、原料加工から商品試作、評価まで行う機器を整備し、地域の食品関連産業の発展に貢献するものです。

鳥取県補助金及び経済産業省の平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業（中国地域）」、平成26年度対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金（企業立地促進基盤整備事業）を活用して、食品開発研究所（境港市）に整備したものです。

なお、機器利用の際は減免制度がありますので、詳しくは食品開発研究所（電話：0859-44-6121）までお気軽にお問い合わせください。



◆「県内3信用金庫との連携協定」を締結しました

平成26年12月10日、県内の3信用金庫と下記内容に関する連携協定を結び、相互に協力することとしました。

- (1) 企業等の技術ニーズ等に関する情報交換
- (2) 企業等からの技術相談に関する支援
- (3) 企業等への県支援施策を含む情報発信
- (4) 企業等との研究開発の推進
- (5) 企業等の産業人材育成の支援

当センターの専門的な知識や技術ノウハウを、県内信用金庫の取引先企業へ繋いで頂き、新技術開発や新製品開発、新事業展開などに活用して頂きたいと考えています。早速、国の平成26年度補正事業に向けて、当センターと信用金庫が共同して補助金獲得支援セミナーを県内3カ所で行うなど、具体的な取り組みを行っています。

お気軽にお近くの信用金庫又は当センターにお問い合わせください。

- ・鳥取信用金庫 業務推進部地域振興課 電話 (0857) 27-2568
- ・倉吉信用金庫 審査部 資産管理部 電話 (0858) 22-1111
- ・米子信用金庫 営業推進部営業推進課 電話 (0859) 33-1247
- ・企画・連携推進部 企画室 電話 (0857) 38-6205



◆平成27年度の新規事業の紹介

「開放機器使用料、依頼分析手数料の減額制度をスタート！」

県内の小規模事業者の技術力強化と県内産業の高付加価値化を目指すため、開放機器の使用料・依頼分析の手料を平成27年度から減額する制度を創設しました。

1 減額する範囲

次の使用料又は手数料を2分の1に相当する額に減額します。

- (1) 試験研究に係る機器及び設備使用料
(機器操作方法の講習を希望される場合は2,000円/回が必要です)
- (2) 試験・加工等の手数料
(試験分析等成績書の追加交付を希望される場合は400円/枚が必要です)

2 対象

当センターが認定した「県内に主たる事務所を置く小規模事業者」

- (1) 「県内に主たる事務所を置く」
法人住所又は事業活動の拠点としての主たる事務所が県内に所在すること。
- (2) 「小規模事業者」
常時使用する従業員数が20人（商業又はサービス業は5人）以下であること。
・企業組合、協業組合、事業協同組合、農業・林業・畜産業・水産業を営む個人事業主を含む。
・NPO法人、医療法人、学校法人、財団法人、社団法人は除く。

3 認定申請手続等

認定申請書に必要書類1部を添付してセンターの各研究所を経由して、又は直接、下記の間合せ先へ提出してください。

※詳しくは、下記へお気軽にお問い合わせください。

企画・連携推進部 企画室 山本（ヤマモト）電話 (0857) 38-6205

◆鳥取県産業技術センター研究報告No.17 2014(平成27年3月)を発行しました

平成26年度に実施した研究成果等を紹介しています。

*印刷配布は行っていません。当センターのホームページにデータがありますので、ダウンロードしてください。

「鳥取県産業技術センターホームページ」からトップページ > プレスリリース・広報資料・特許・研究成果 > 刊行物 > 鳥取県産業技術センター研究報告 > No.17 (2015年3月発行) の順にお進みください。https://www.tiit.or.jp/index.php?view=5582



地方独立行政法人

鳥取県産業技術センター

Tottori Institute of Industrial Technology

〒689-1112 鳥取市若葉台南七丁目1番1号

TEL (0857)38-6200(代表) FAX (0857)38-6210



ホームページ <http://www.tiit.or.jp/>

E-mail tsgckikaku@pref.tottori.jp